

速野の窓

発行：速野学区まちづくり協議会
速野学区社会福祉協議会
編集：速野公民館（水保町2236）
Tel 585-3953 Fax 585-5253
hayanokaikan@city.moriyama.lg.jp
【学区の現況】（10月31日現在）
世帯数 4,982戸（前月比+5）
人口 12,377人（前月比-4）

おめでとうございます

速野学区より下記の方々が表彰をお受けになりました。おめでとうございます。

【秋の叙勲・褒章受章者】

叙勲「瑞宝双光章」

★新道信彦さん 元公立中学校長[教育功労]

褒章「藍綬褒章」

★堀江ひとみさん 社会福祉法人むつみ会 ひなぎくこども園園長[教育・保育功績]

知事表彰

★宮部光治郎さん（洲本町）戦没者遺族援護事業の発展と向上に尽力された

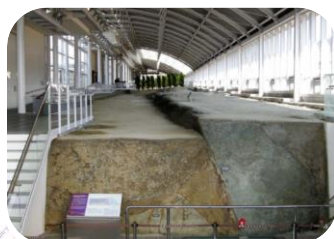
速野学区自治会長会先進地研修

速野学区自治会長会では11月17日から18日まで淡路島方面での先進地研修を実施しました。

1日目は、淡路市にある「北淡震災記念公園」と「のじまスコーラ」を訪問。「北淡震災記念公園」では阪神・淡路大震災を起こした兵庫県南部地震（平成7年1月17日）の地震跡（断層・被災家屋等）を見学しました。地震跡からは地震の凄まじい破壊力が感じられ、改めて自然災害への畏怖と災害への心構え、日頃の備えの重要性を学びました。また、震災の語り部（米山正幸さん）から地震当日の話を聞くことができました。北淡町は大きな被害を受け、その際、地元消防団を中心に救護活動が活発に行われ、行方不明者を出さなかった実績があり、自主防災の重要性も教えていただきました。次の「のじまスコーラ」は廃校（旧野島小学校）を改装し、地域活性化を目的に複合観光施設として再生したものです。飲食店やお土産店の営業もあり、当日も多くの観光客がみられ地域を超えて淡路島全体の活性化にも貢献していると感じられました。ここでは地域資源の再生の手法を学びました。

2日目は、淡路島から大鳴門橋を渡って鳴門市にある「大塚国際美術館」を訪問。「大塚国際美術館」では陶板製の複製美術画を見学しました。館内には遠足らしき学生の一団や一般観光客が多数来館しており、高速道路と相まって遠方からの集客に成功していると感じられました。また、この施設は淡路島を経由して関西地方と四国地方との人の流れを生み出している側面もあり、広域的な地方活性化に繋がっていることを学びました。今回の研修は、今後の速野学区のまちづくりに大変参考となる研修となりました。

研修の様子



「秋のタベ森のつどい〜光と音のシンフォニー〜」
を開催しました。

11月5日、速野学区ふるさとづくり委員会Cプロジェクト主催で「秋のタベ森のつどい」が開催されました。当日は約300人の来場となり、皆さんは竹灯籠などの光のイベントと野外コンサートの音のイベントを楽しんでいました。



開会式の様子